

2024年 3 月期 決算説明資料

2024年4月26日

NECキャピタルソリューション株式会社

\Orchestrating a brighter world

NECは、安全・安心・公平・効率という社会価値を創造し、
誰もが人間性を十分に発揮できる持続可能な社会の実現を目指します。

目次

1. 2024年3月期 実績報告

- 1) 決算ハイライト
- 2) 事業環境
- 3) 業績概要
- 4) 事業別損益
- 5) 事業別の営業状況
- 6) リース事業の営業状況
- 7) ファイナンス事業の営業状況
- 8) インベストメント事業の状況
- 9) 営業資産残高の状況
- 10) 資金調達の状況
- 11) 与信関連費用

2. 2025年3月期 計画

- 1) 業績予想

3. 中期計画2025 進捗状況

1. 2024年 3 月期 実績報告

1) 決算ハイライト

【事業環境】

- ・ 業界全体のリース取扱高は前年比7.6%増
- ・ 資金調達環境や倒産状況は引き続き今後の動向に注視が必要

【営業実績】

- ・ リース事業は、官公庁の大型案件の獲得から成約高が前年比増加
- ・ ファイナンス事業は、短期の企業融資の減少に伴い、契約実行高・成約高とも前年比減少

< リース事業 >	契約実行高： 4.3%減	成約高： 10.3%増
< ファイナンス事業 >	契約実行高： 5.3%減	成約高： 5.2%減

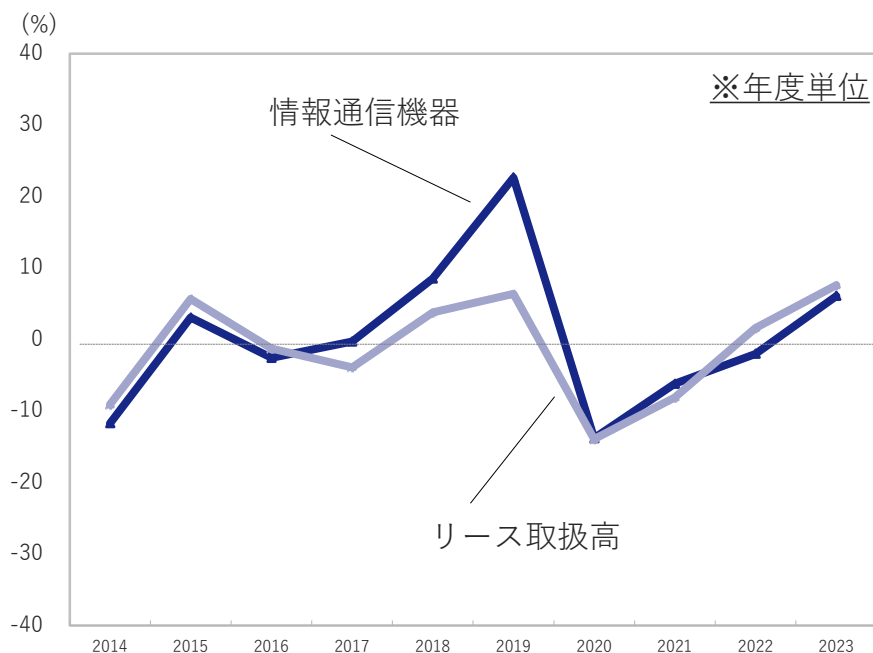
【経営成績】

- ・ 売上総利益の積み上げ等により、最終利益は過去最高益を更新

2) 事業環境

- ・ リース取扱高：業界全体は前年比7.6%増、
当社主力の情報通信機器は前年比6.1%増
- ・ 倒産状況：23年度における倒産件数および負債総額は増加

■ リース取扱高動向（前年比推移）



（社団法人リース事業協会：リース統計より）

■ 倒産状況（負債総額/件数）



（帝国データバンクHP：倒産集計より）

3) 業績概要

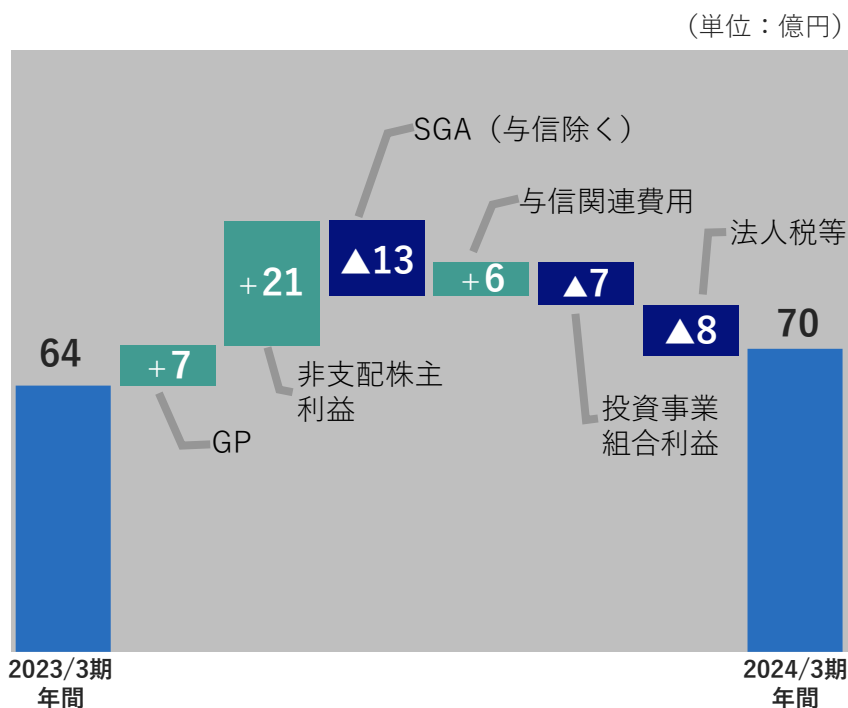
- ・ 売上高 : 前年の大型売却売上影響があったものの前年並みを確保
- ・ 当期純利益 : 売上総利益の着実な積み上げ等により、最終利益は過去最高益を更新

■ 業績数値

(単位: 億円)

	2023/3期 年間	2024/3期 年間	前年比
売上高	2,581	2,559	▲0.9%
営業利益	117	117	▲0.2%
経常利益	124	118	▲5.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	64	70	+9.6%
1株当たり当期純利益	298円14銭	326円66銭	—
営業資産残高	9,661	9,825	+1.7%
純資産	1,288	1,368	+6.2%
自己資本	1,095	1,157	+5.7%
自己資本比率 (%)	10.4	10.4	—
1株当たり年間配当金 (円)	110	130	+20

■ 当期純利益 前年比主要増減要因



4) 事業別損益

■ 事業別損益

(単位：億円)

		2023/3期 年間	2024/3期 年間	前年比
リース 事業	売上高	2,243	2,284	+1.8%
	売上総利益	166	165	▲0.5%
	営業利益	64	55	▲14.2%
ファイナンス 事業	売上高	66	91	+38.7%
	売上総利益	48	65	+34.9%
	営業利益	22	33	+54.2%
インベストメント 事業	売上高	228	137	▲39.9%
	売上総利益	88	75	▲14.8%
	営業利益	44	41	▲7.7%
その他の 事業	売上高	45	47	+5.2%
	売上総利益	17	21	+23.1%
	営業利益	5	6	+27.0%
計	売上高	2,581	2,559	▲0.9%
	売上総利益	319	326	+2.1%
	営業利益	117	117	▲0.2%

※短信セグメント情報のうち、「調整額」を除いて表示

<<リース事業>>

- ・前年に大型の資産売却があったこと及び与信関連費用の計上から利益は前年比減少したものの、基礎収益は改善傾向

<<ファイナンス事業>>

- ・配当収入や金利収益の増加に加え、有価証券の売却等に伴い、売上・利益共に前年比増加

<<インベストメント事業>>

- ・前年に大型の不動産売却等があったことから売上及び利益は前年比減少

<<その他の事業>>

- ・手数料収益やヘルスケア、太陽光等の取り組みの進展に加え、資産売却もあり、売上・利益共に前年比増加

5) 事業別の営業状況

■ 事業別契約実行高

(単位：億円)

	2023/3期 年間	2024/3期 年間	前年比
リース事業	2,154	2,061	▲4.3%
賃貸事業	1,925	1,883	▲2.2%
割賦販売	229	178	▲22.0%
ファイナンス事業	3,612	3,419	▲5.3%
営業貸付金	2,598	2,391	▲7.9%
一括ファクタリング	1,014	1,028	+1.4%
その他の事業	38	19	▲49.5%
計	5,804	5,500	▲5.2%

■ 事業別成約高

(単位：億円)

	2023/3期 年間	2024/3期 年間	前年比
リース事業	2,206	2,432	+10.3%
賃貸事業	1,973	2,261	+14.6%
割賦販売	233	171	▲26.6%
ファイナンス事業	3,606	3,418	▲5.2%
営業貸付金	2,591	2,390	▲7.8%
一括ファクタリング	1,014	1,028	+1.4%
その他の事業	15	119	+704.7%
計	5,826	5,969	+2.4%

- ・ 契約実行高全体は前年比減少するものの、成約高はリース事業の伸長等により前年比増加

6) リース事業の営業状況

■ 業種別契約実行高

(単位：億円)

	2023/3期 年間	2024/3期 年間	前年比
官公庁	1,171	1,041	▲11.1%
民需	984	1,021	+3.8%
サービス業	345	371	+7.6%
流通業	151	168	+10.9%
製造業	238	258	+8.4%
その他	249	223	▲10.3%
計	2,154	2,061	▲4.3%

■ 業種別成約高

(単位：億円)

	2023/3期 年間	2024/3期 年間	前年比
官公庁	1,183	1,426	+20.5%
民需	1,023	1,006	▲1.6%
サービス業	375	360	▲3.9%
流通業	144	157	+8.7%
製造業	246	261	+6.0%
その他	258	229	▲11.3%
計	2,206	2,432	+10.3%

■ (参考) 機種別契約実行高

(単位：億円)

	2023/3期 年間	2024/3期 年間	前年比
情報通信機器	1,661	1,572	▲5.3%
電子計算機及び関連装置	716	706	▲1.4%
ソフトウェア	773	679	▲12.2%
通信機器及び関連装置	172	188	+9.2%
事務用機器	181	166	▲8.3%
その他機器	312	323	+3.4%
計	2,154	2,061	▲4.3%

<<業種別契約実行高>>

- ・官公庁は大型案件が減少したことから前年比減少
- ・民需はサービス業・流通業・製造業が増加
サービス業は海外案件が牽引

<<業種別成約高>>

- ・官公庁は大型案件の獲得により前年比増加
- ・民需は流通業・製造業が増加したものの、全体では前年並み

7) ファイナンス事業の営業状況

■ 契約形態別契約実行高

(単位：億円)

	2023/3期 年間	2024/3期 年間	前年比
立替・APF・割賦バック	245	216	▲12.0%
個別ファクタリング	1,042	1,078	+3.4%
一括ファクタリング	1,014	1,028	+1.4%
企業融資	1,156	996	▲13.9%
その他	154	102	▲33.9%
計	3,612	3,419	▲5.3%

■ 業種別契約実行高

(単位：億円)

	2023/3期 年間	2024/3期 年間	前年比
官公庁	15	5	▲66.9%
民需	2,583	2,386	▲7.6%
サービス業	230	208	▲9.6%
流通業	208	144	▲30.7%
製造業	1,091	1,101	+0.9%
金融業・保険業	383	373	▲2.6%
不動産業	362	384	+5.9%
その他	308	176	▲42.7%
一括ファクタリング	1,014	1,028	+1.4%
計	3,612	3,419	▲5.3%

<<契約形態別契約実行高>>

- ・ 短期の企業融資を中心に減少したものの、LBO等の新たな取り組みが進展

<<業種別契約実行高>>

- ・ 流通業、その他の減少等により前年比減少

8) インベストメント事業の状況

■ 事業別損益

(単位：億円)

		2023/3期 年間	2024/3期 年間	差異
アセットビジネス	売上高	106	92	▲15
	売上総利益	65	53	▲12
	営業利益	32	33	1
不動産	売上高	118	40	▲78
	売上総利益	20	17	▲2
	営業利益	14	8	▲6
アドバイザー	売上高	4	5	1
	売上総利益	4	5	1
	営業利益	▲1	▲0	1
連結ベース 計	売上高	228	137	▲91
	売上総利益	88	75	▲13
	営業利益	44	41	▲3

※「調整額」を除いて表示

前年に大型売却等があったため前年比減少となるものの、年間を通して着実に収益を計上

<<アセットビジネス>>

- ・前年に大型のEXIT等があったため、売上、売上総利益は減少。与信費用の戻入から営業利益は前年並み

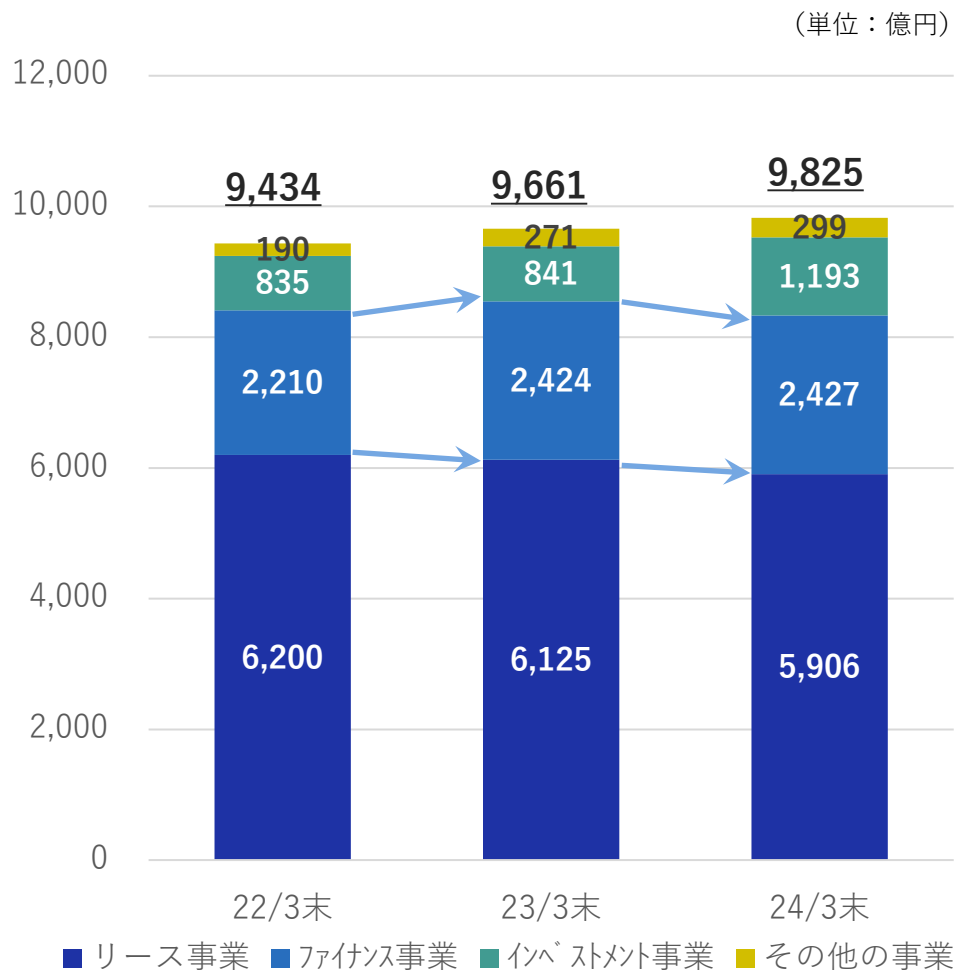
<<不動産>>

- ・前年に大型の不動産売却があったことから売上高は大幅減少となるものの、賃料収入等を着実に計上

<<アドバイザー>>

- ・前年並みの推移

9) 営業資産残高の状況



<<リース事業>>

- ・ GIGAスクール特需後の通減はあるもののICTや小口リース、海外現法の資産増加により減少幅を抑制

<<ファイナンス事業>>

- ・ 企業融資を中心に、アセットの入れ替えが進展

<<インベストメント事業>>

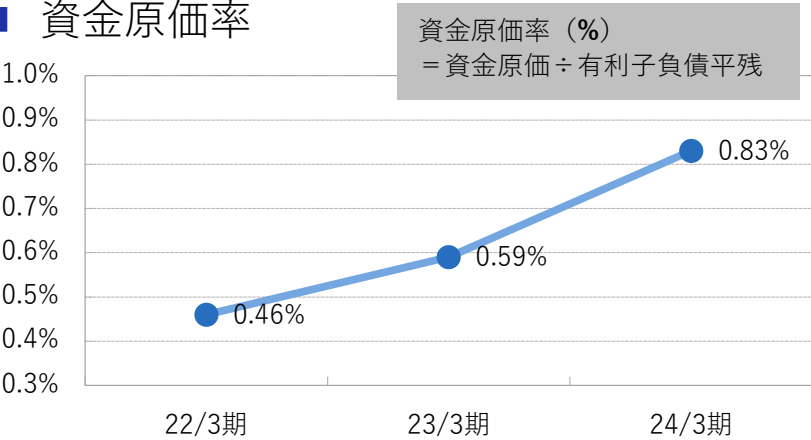
- ・ インカムゲインアセットの取得等により前年比352億円増加

<<その他の事業>>

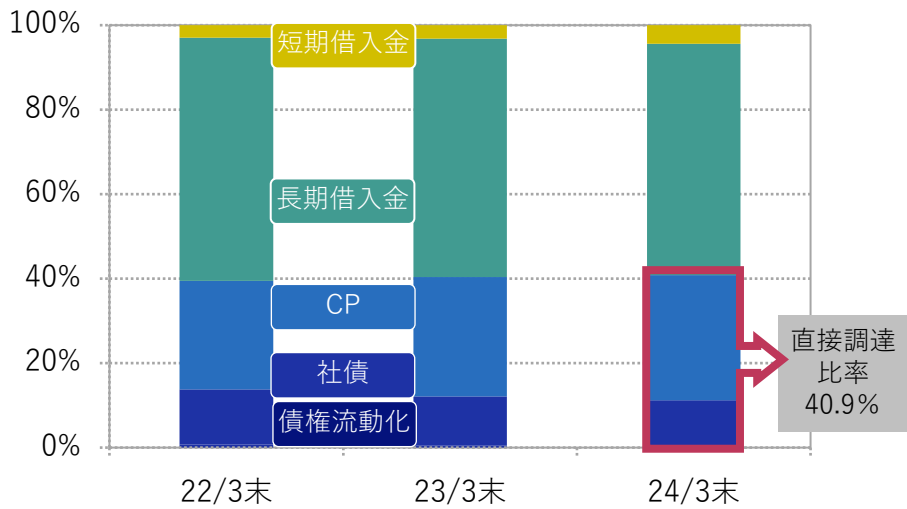
- ・ ヘルスケアと太陽光の取り組み進展に伴い前年比28億円の増加

10) 資金調達状況

■ 資金原価率



■ 有利子負債構成比



■ 有利子負債残高

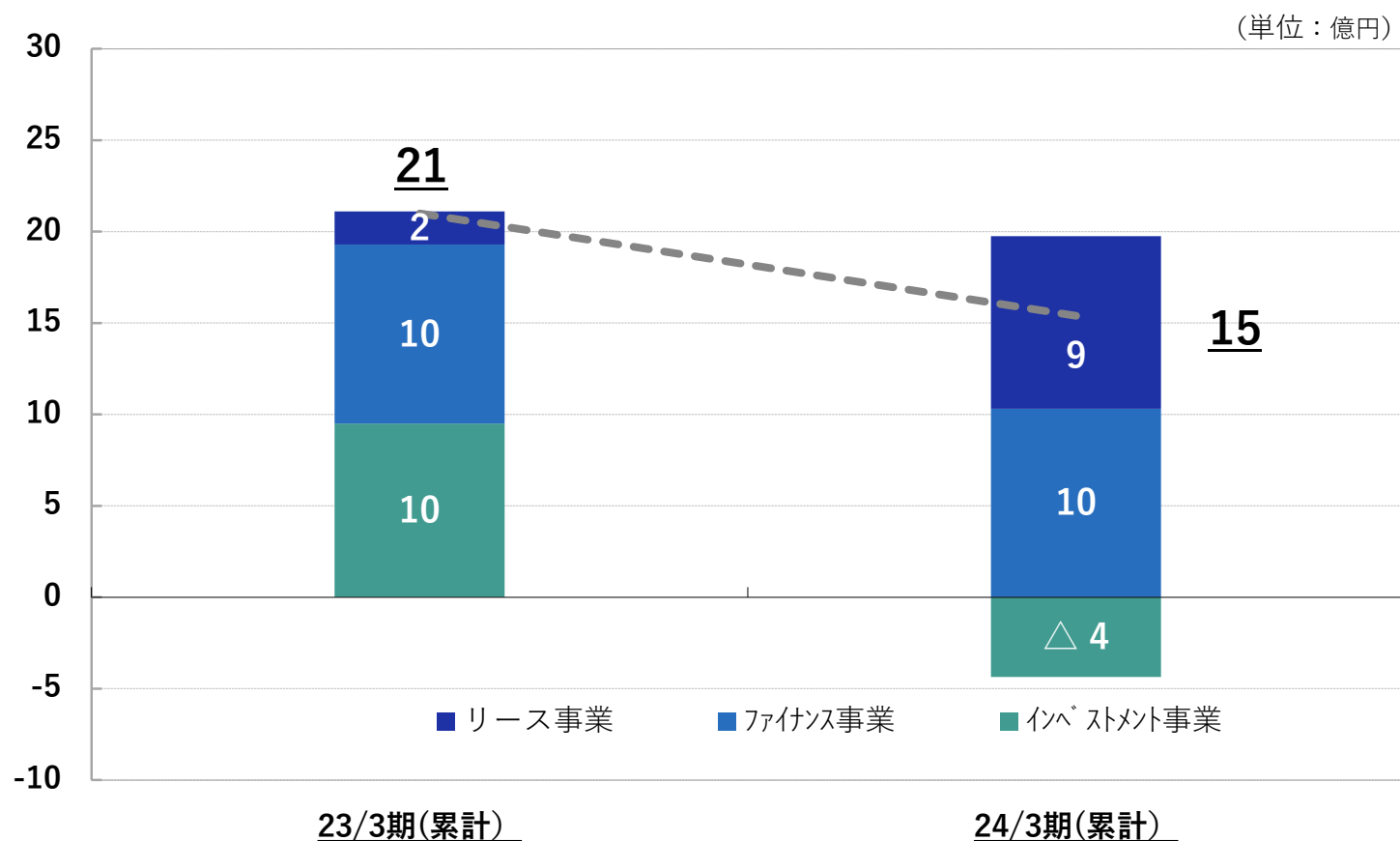
(単位：億円)

	2023/3末	構成比	2024/3末	構成比	増減
短期借入金	271	3.2%	404	4.4%	+133
長期借入金	4,851	56.5%	5,031	54.8%	+180
CP	2,430	28.3%	2,720	29.6%	+290
社債	1,002	11.7%	1,008	11.0%	+6
債権流動化	40	0.5%	27	0.3%	▲13
計	8,593	100%	9,189	100%	+596

- 資金原価率は、外貨の調達金利の上昇等に伴い前年比0.24ポイント増加の0.83%
- 直接調達比率は、CPの増加に伴い前年比増(2023/3末40.4% →2024/3末 40.9%)

11) 与信関連費用

- ・リース事業で計上があったものの、インベストメント事業の戻入益計上等から6億円の改善



2. 2025年3月期 計画

1) 業績予想

- ・引き続き収益性の向上に取り組み、利益面では最高益更新を計画
- ・利益予想を踏まえ、配当金は20円の増配を計画

(単位：億円)

■ 業績予想

	2024/3期 年間(実績)	2025/3期 年間(予想)	増減
売上高	2,559	2,600	+41
営業利益	117	120	+3
経常利益	118	125	+7
親会社株主に帰属する純利益	70	80	+10
1株当たり純利益 (円)	326円66銭	371円50銭	-

■ 1株当たり配当金

	第2四半期末	期末	年間
2024/3期 実績	65円00銭	65円00銭	130円00銭
2025/3期 予想	75円00銭	75円00銭	150円00銭

3. 中期計画2025 進捗状況

1) 中期計画2025とビジョン実現に向けたロードマップ

【グループビジョン2030】

次世代循環型社会をリードするSolution Company

2023-2025年度
中期計画2025

2026-2030年度
次期中期計画

次世代循環型社会の実現に向けて
変革に挑戦する

当社らしい
循環型サービスを
創出

当社らしい
循環型サービスを
発展

当社らしい
循環型サービスの
収益確立

2) 中期計画2025の進捗状況 (1/3)

事業戦略① サービス事業の拡大、新たな循環型サービスを創出

■非金融サービス領域はパートナーとの連携強化等により着実に拡大

その他の事業

- 太陽光発電：新たな取り組みや協業を拡大
(コーポレートPPA分野：オクトパスグループ、しろくま電力)
- PFI：受託案件数は計画を上回る推移、代表企業としての案件も進展
- ヘルスケアウェアハウジング：商流の多様化による案件積み上げ、期中収益の増加および売却益を実現
- コーポレートアドバイザー：日本M&Aレビューにて、日本企業関連の公表案件、完了案件数でランクイン

■新たな循環型サービスの提供に向け、ICT領域におけるサブスクリプションモデルや付加機能の拡充に向け具体的な案件検討に着手

その他の事業

2) 中期計画2025の進捗状況 (2/3)

事業戦略② 注力事業への戦略的投資による成長加速

- ICT関連サービス事業は着実に伸長、PC-LCMサービス顧客を拡大するとともに、IT資産管理など付加価値の提供が進む

リース事業

その他の事業

- 金融プロダクトの領域拡大、LBOファイナンスやエクイティ等共同投資の取り組みが進展し収益が拡大、キャピタルゲインの実現を伴いながら、収益性向上に向けた資産の入れ替えが加速

ファイナンス事業

- リサ・パートナーズにおける収益安定化と持続的な成長投資に向けて大型のインカムゲインアセットの取得が計画通り進捗

インベストメント事業

2) 中期計画2025の進捗状況 (3/3)

事業戦略③ ベンダーファイナンスの強化および顧客基盤拡充

- 官公庁自治体の大口案件を複数獲得 リース事業
- ベンダーと連携したクラウドサービス等の月額提供モデルの取り組み、ベンダー支援案件が拡大 リース事業
- お客様課題解決に向けた様々なサービス提供のため体制見直しを実施、人材育成、社内協業体制を強化 顧客基盤/人的資本

経営基盤強化戦略

- グループビジョン・中期計画浸透に向けた対話会を全社で継続
- 働き方、カルチャー変革に向けた各種制度の見直しを実施
- 健康経営優良法人2024の認定を取得
- CDP気候変動レポートにて「A-」スコア獲得
- DX推進加速に向けた体制強化



3) 非財務目標の進捗状況

■概ね計画通りの進捗

	目的	目標内容	23/3期 実績	24/3期 実績	26/3期 目標
環境・社会課題	カーボンニュートラル実現に向けたCO ₂ の削減	Scope1+2 : 23/3期実績比 削減率	157t-CO ₂	13%削減 ※見込	20%削減
	社会インフラ整備の推進	官公庁・自治体の 3か年累計成約高	1,278億円	1,484億円	4,000億円
	ICTビジネス拡大に伴う循環利用の促進	リース満了品3か年 累計処理台数	20万台	25万台	70万台
	気候変動対応の推進	再エネ発電容量 (保有発電所)	43MW	59MW	100MW
	自然資本を意識した社会貢献活動の推進	学校ビオトープ教育 3か年累計延べ校数	3校	3校	10校
人的資本	従業員エンゲージメントの向上	従業員エンゲージメントスコア	21%	21%	34%
	ダイバーシティの推進	女性管理職比率	5.5%	6.7%	10%

本資料に記載されている株主・投資家向け情報は、投資勧誘・保証を目的として作成されたものではありません。実際に投資を行う際は、ご利用者ご自身のご判断において行われるようお願い致します。

本資料に記載されている当社の計画、戦略及び業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定な要因を含んでおります。

また、本資料に記載されている経営目標は予想ではなく、将来の業績に関する経営陣の現在の予想を反映したものでもありません。むしろ、経営陣が事業戦略の実行を通じて達成しようとする目標であります。

実際の業績等は、さまざまな要因により、見通し等と大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、当社の事業領域を取り巻く経済情勢及び規制や法令の変更、潜在的な法的責任、当社のサービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力などがありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷などにより、実際の業績等が経営目標その他の見通しと異なる結果となる可能性もあります。

当社による将来予測に関する記述は、その日現在のものであることをご承知おきください。新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、リスクや不確定要因があるため、将来予測に関して記述されていることが実際には起こらない場合もありえます。これらの記述に全面的に依拠することは控えるようお願いいたします。

NECキャピタルソリューション グループビジョン

次世代循環型社会をリードする Solution Company



\Orchestrating a brighter world

NEC